価値創造のプロセス

三機工業グループは、経営理念「三機スタンダード」のもと、事業プロセスの各段階と事業領域において
新たな価値を創出し、あらゆる快適環境の実現と持続可能な社会の発展に貢献することを使命として取り組んでいます。

社会課題		
	気候変動	DXとサイバーリスク
	資源・エネルギー制約	人口減少・少子高齢化
	人権リスク	インフラの老朽化

ステークホルダーからの要請		
	脱炭素化	防災・減災・レジリエンス
	持続可能な資源利用	自動化・省人化・生産性向上
	安全な労働環境	インフラ施設の維持・更新
	働き方改革	ニューノーマルへの適応

継続的なさらなる企業価値の向上

快適環境の実現

持続可能なよりよい社会

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

Input

支える資本
（2022年度）

財務資本

• 純資産	909 億円
• 成長投資	32 億円

製造資本

• 国内拠点（支社・支店）	18 カ所
• 総合研修・研究施設（三機テクノセンター）	
• 大和プロダクトセンター	

知的資本

• 幅広い事業領域における豊富な実績と高い技術力	
• 試験研究開発費	15.0 億円

人的資本

• 従業員数	2,627 名
• 一人当たりの平均研修費用	5.5 万円/年
• グループ・協力会社を含む技術力育成	

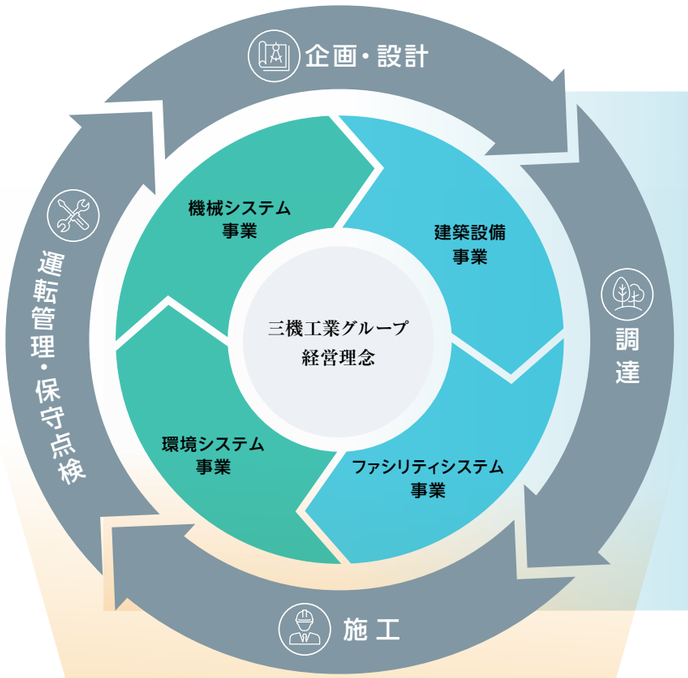
社会・関係資本

• 培った信用力と強固な顧客基盤	
• 協力会会員企業	859 社
• お取引先との連携	
• オープンイノベーションによる価値創出	
• スタートアップ企業との連携	

自然資本

• 環境への配慮	
• エネルギー・水資源等の投入	
エネルギー使用量	22,793 MWh
水使用量	44.1 千m^3 ※1

事業活動



長期ビジョン
"Century 2025"
Phase1 / Phase2

中期経営計画Phase3「選ばれる」 P. 26

超長期ビジョン2050年の姿 P. 08

三機工業グループのマテリアリティ P. 24

- 脱炭素社会への貢献
- 働く仲間の幸福の追求
- エンジニアリングを活かした快適環境の構築
- 新たな社会価値の創造

安定した収益と経営基盤の強化

Output

主な製品・サービス
（2022年度）

主な製品・サービス

• 受注高	2,285 億円
• 売上高	1,908 億円
• 大型完成工事物件	15 件 ※2

主な実績

山形県立新庄病院

エス・ユー開発新焼却炉

環境への負荷

• 温室効果ガス排出量	
Scope1, 2	5.34 千t-CO_2
Scope3	3.93 百万t-CO_2
• 産業廃棄物排出量	23.0 千t ※3

※1 三機テクノセンター、大和プロダクトセンター、那須テクノステーションほか出張所含む8拠点
※2 受注金額が10億円以上の工事物件
※3 元請現場・国内グループ
※4 三機工業施工現場（単体および協力会社）
※5「今後も当社グループで働き続けたい」の回答を選択した従業員比率

Outcome

創出する価値
（2022年度）

財務資本

• ROE	5.1 %
• 1株当たり年間配当金	75 円
• 自己資本比率	52.6 %

製造資本

• 施工中のトラブル・クレームの削減率 2021年度比	25 %減
• 労働災害度数率	0.58 ※4

知的資本

• 特許登録数（2023年3月31日現在）	458 件

人的資本

• 従業員満足度（2021年度調査／単体）	91.6 % ※5
• 施工管理技士（土木・建築・電気工事・管工事）	1,225 名
• 女性管理職比率（2023年4月1日現在／単体）	2.5 %
• 外国籍社員比率（2023年4月1日現在／単体）	1.2 %
• 一人当たり月平均時間外労働時間	27.4 時間
• 一人当たり有給休暇取得率	61.6 %

社会・関係資本

• 協力会を通じた協力会社との連携強化	
• 取引先との意見交換の実施	26 社
• オープンイノベーション実施・参画件数	32 件

自然資本

• 提案によるCO_2削減貢献量（受注分）	50.4 千t-CO_2
• 主な創エネルギーの推進による環境負荷低減	5.21 千t-CO_2
• 自社製品による水処理量	2.7 億m^3
• ZEBによる高効率な省エネルギー設備の提供	